



茨城の土木遺産

筑波山ケーブルカー (つくば市)

大正14年(1925年)竣工

筑波山の観光開発のため、地元の事業家・高柳淳之介氏が大正12年に筑波山鋼索鉄道株式会社を設立して工事に着手。大正14年に竣工(全長1634m、高低差495m)し、営業を開始した。路線の選定に当たっては、地形の改変に配慮して地形に沿って路線を敷設したため、全延長の3分の1がカーブ区間で、進行方向を90度に転換する設定となっており、全国的にも稀な存在である。カーブ区間に設けられた長峰隧道(延長118m)は、急勾配の曲線トンネルである。トンネルの施工に当たっては地山が硬岩(斑れい岩)のため、当時のトンネル施工技術では黎明期にあった発破掘削・コンクリート覆工工法を採用している。管理者は筑波観光鉄道(株)。平成27年度に土木学会選奨土木遺産に認定された。

主な内容

- ▼ 北関東3県合同会議を本県で開催
- ▼ 県建設関連団体と初の意見交換会
- ▼ 建設ディレクターの勉強会開催
- ▼ 12支部が「道の日」で道路美化活動

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局